

令和 6 年 9 月 25 日現在

機関番号：12601

研究種目：国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）

研究期間：2020～2023

課題番号：20KK0174

研究課題名（和文）治療用同位体製造と放射性医薬品合成の共同研究

研究課題名（英文）Collaborative Therapeutic Isotope Production and Radiopharmaceutical Synthesis

研究代表者

和田 洋一郎（Wada, Yuichiro）

東京大学・アイソトープ総合センター・教授

研究者番号：10322033

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 14,300,000円

研究成果の概要（和文）：短寿命 線放出核種の核医学治療への応用が急務である。本研究では、短寿命 線核種の効率的な製造・精製技術の開発、線核種を用いた医薬品標識技術開発、線核種を高速かつ安全に精製・標識する計測制御システムの開発、を実施した。研究期間中のパンデミックのため共同研究先からアクチニウム-225の供給を受け、アクチニウム-225によるペプチド標識方法の開発、新規PET核種との併用によるラジオセラノスティクスに必要なジルコニウム-89可視化技術開発を行った。現在については、2023年中途より常勤職員が海外共同研究先に常駐して研究を行い、同一DDSへの異なる修飾技術開発を継続している。

研究成果の学術的意義や社会的意義

医薬品としての利用が明らかになり、今後有用な短寿命 線放出核種であるアスタチン-211を用いた研究が国際的に進展している。本国際共同研究によって国内での製造が困難な核種であるアクチニウム-225を利用する研究を並行して比較検討することによって、医薬品としての長所と短所を明らかにし、今後の核種製造方法の開発に寄与することができた。この核種を使った核医学治療が、今後がん治療における第六の選択肢として確立することにより国民の福利厚生に寄与するだけでなく、適応を拡大することにより我が国製薬産業の国際競争力の強化、医療ツーリズムによる外貨獲得を通じた経済振興などに役立つと考えられる。

研究成果の概要（英文）： There is an urgent need to apply short-lived  $\beta$ -ray emitting nuclides to nuclear medicine therapy. In this study, we conducted (1) development of efficient production and purification techniques for short-lived  $\beta$ -ray emitting nuclides, (2) development of pharmaceutical labeling techniques using  $\beta$ -ray emitting nuclides, and (3) development of measurement and control systems for rapid and safe purification and labeling of  $\beta$ -ray emitting nuclides. Due to a pandemic during the research period, we received a supply of Actinium-225 from a collaborator, and conducted (2) development of a peptide labeling method using Actinium-225, and (3) development of zirconium-89 visualization technology necessary for radioceranostics in combination with new PET nuclides. Currently, (1) a full-time staff member will be stationed at an overseas collaborative research site to conduct research from the middle of 2023, and (3) development of different modification techniques for the same DDS is ongoing.

研究分野：放射線科学

キーワード：線放出核種 核医学治療 ラジオセラノスティクス

## 1. 研究開始当初の背景

近年動物実験において線医薬品の有用性が確認されて以来、現在核医学治療(RI内用療法)の開発が急速に伸展している。特に、半減期が7.2時間であるアスタチン-211と半減期が10日であるアクチニウム-225は、所謂“短寿命”線放出核種と呼ばれ、体内において疾患細胞の殺傷効果を発揮したあと、急速に消失することから、ヒトにおける核医学治療に適している。近年サイクロトロンによるビームラインを用いた核反応によるこれら短寿命線放出核種の製造方法が確立し、治療法の開発競争が始まっている。アスタチン-211は、半減期が短いものの、国内加速器施設、小型サイクロトロンによって製造、生成することが可能であり、製造直後にドラッグデリバリーシステム(DDS)に標識することで臨床機関での使用が可能となるが、アスタチンはハロゲン族元素であることから、DDS標識の化学反応が必要となる。一方でアクチニウムは金属元素であり、キレート剤による結合が可能である点で標識反応が容易となる長所を有している。しかしながらアクチニウム-225製造に必要なウラン-233あるいはトリウム-229は使用済み核燃料に含まれるため国内に研究用の在庫が無く、海外の加速器施設との共同研究によって製造する必要がある。我々は、既にTRIUMF(バンクーバー、カナダ)との連携、共同研究を行っていたことから、本研究を通じてアクチニウム-225を用いた医薬品開発を加速的に推進する必要があると考えた。

## 2. 研究の目的

短寿命線放出核種の核医学治療への応用が急務となっている今日において、短寿命線核種の効率的な製造・精製技術の開発、線核種を用いた医薬品標識技術開発、線核種を高速かつ安全に精製・標識する計測制御システムの開発、を実施することによって、今後爆発的に進展することが予測される線医薬品開発を推進して画期的な創薬に寄与することを目的とする。本研究においては、共同研究の枠組みにおいて利用しているオリジナル実験モデル、ドラッグデリバリーシステム、標識手法、自動化装置を用いて、国内での製造が困難であるものの、近い将来医薬品として利用することが期待されるアクチニウム-225を中心とした短寿命 $\alpha$ 線放出核種を用いた医薬品の開発を行い、オートラジオグラフィとイメージングによって体内動態分布の検証によって、proof of conceptを得ることを目的とする。そのため以下の方法によって、主として海外研究機関であるTRIUMF(バンクーバー、カナダ)において一連の研究を行う。

## 3. 研究の方法

### (1) 線放出核種の製造使用

アクチニウム-225は、TRIUMFにおいて製造する。運動する荷電粒子は一樣な磁場の中で回転するが、その回転周期が粒子の速さによらず一定であるという性質を利用して、イオンを高周波電場によって周期的に加速する装置がサイクロトロンである。TRIUMFにおいて稼働している、AVF(Azimuthally Varying Field)型サイクロトロンは、粒子の質量が相対論効果により顕著に増加するような高いエネルギーまでの加速を可能にするため、回転半径が大きくなるにつれて磁場を強くし、また、ビームが加速中に広がらないように回転方向に磁場の強弱をつけている。このサイクロトロンから得られる480 MeVの陽子をウランまたはトリウムターゲットへ照射し、rare-isotope beams (RIB)から、isotope separation on-line (ISOL)によって質量に基づいて質量数225の原子を分離する。このときラジウム-225またはアクチニウム-225が含まれるRIBをアルミニウムターゲットに誘導すると、20 nmの深さに到達するので、これを削り出してレジンによる固相抽出でアクチニウム-225を精製する。研究分担者の桧垣は、これまで環境放射能の測定のため元素の化学分離を行ってきた。本研究では、化学分離が必要となる固相抽出手法の最適化を行い、短時間で、かつ被ばく線量の低減を目指した精製手法を確立する。精製したアクチニウム-225はTRIUMF内核医学研究施設においてそのまま利用する。

## (2) ドラッグデリバリーシステムの開発

精製した 線放出核種は、研究分担者の巽らがストレプトアビジン-ビオチンシステムを元に開発し特許を有する、エフェクター分子を腫瘍特異的に集積するシステム(Cupid-Psyche システム)の標識に用いる。腫瘍表面の標的分子に対する抗体の認識部位と改変ストレプトアビジンである Cupid を合体させ、これが腫瘍を認識する。Cupid は四量体を形成し、腫瘍に強く結合する。ここへ Cupid と低用量でも強固かつ特異的に結合するビオチン(Psyche)に 線放出核種を結合させた複合体を投与すると、選択的に癌細胞に集積し、線による抗腫瘍効果を発揮する。実際、分担研究者の巽らは、これまでに従来型よりも血中安定性が高い Psyche 誘導体の開発に成功し、胃がん細胞 MKN45 を移植したゼノグラフトマウスにおいて CEA 抗体-Cupid を投与し、24 時間後にアスタチン-211 標識 Psyche を投与することで、投与 6 時間後に 30% injected dose / g organ (%ID/g)の腫瘍集積率を達成し、腫瘍増殖抑制効果を得ることに成功している。

本提案において使用する胃癌細胞モデルは、FGFR4 を高発現していることが確認されており、Cupid と結合させる腫瘍認識抗体として抗 FGFR4 を用いる。

実際の臨床においては、腫瘍ごとに発現タンパクは異なるが、昨今の先進ゲノム医療において、ターゲットとする腫瘍ごとに高発現する抗原の同定と、本研究成果の臨床応用が可能になる。また、本研究においては、Psyche に結合させるエフェクター分子はアクチニウム-225 であり、細胞中での飛程が 100  $\mu$ m 以下で、エネルギーが 5.8~8.4 Mev と高い 線を 5 回放出して安定なビスマス-209 へと変化する。このため、飛程の長い 線放出核種と比して、腫瘍以外の組織へのダメージは極めて少なく抗腫瘍効果を発揮できると考えている。

## (3) ドラッグデリバリーシステム RI 標識

巽らが開発した Cupid-Psyche システムは、これまで PET 核種である銅-64 で標識した RI イメージングを行ってきた。我々は、新たな PET イメージング用核種ジルコニウム-89 を使ってマウス胃がん腹膜播種、胃がん細胞の皮下腫瘍形成による肺転移、及びリンパ節転移を高効率に検出可能とする RI イメージング法を開発してきたが、本研究において新たなイメージング核種の応用を行う。

## (4) 放射線イメージング

分担研究者の熊倉は、従来核医学臨床のみならず研究において動物のイメージングを行ってきた。本研究においては、従来観察が困難であった胃癌腹膜播種病変の放射線イメージングに挑む。まず、Cupid-Psyche システムに標識された PET 核種によって標識し、モデル動物に投与して生体における全身画像解析を行う。これによって、新規化合物が標的組織に蓄積していること、望ましくない蓄積が起こっていないことを可視化することが可能である。続いて、放射線量に基づく定量化を行い、標的組織への % injected dose / g organ (%ID/g)を最大化し、その他の組織においては最小化を目指す。

## (5) 新規胃癌細胞株による腹膜播種モデルの構築

分担研究者の野村は、科研費基盤 B(代表)「超選択的デリバリー-短寿命  $\alpha$  線を用いた胃癌腹膜播種内照射療法の実験的検討」において、独自に開発した疾患モデル動物を用いた医薬品開発を我々と実施している。p53 ヘテロノックアウト C57BL/6 マウスから樹立したマウス胃癌細胞は、C57BL/6 マウスに移植可能であり、腹膜播種、さらには皮下腫瘍形成により肺転移、リンパ節転移を起こす細胞株を樹立した。当細胞株の中で最も aggressive に腹膜播種を形成し、転移する株(YTN16)は FGFR4 を高発現しており、FGFR4 阻害剤(BLU9931)投与により、その腹膜播種形成、成長が大きく抑えられることが確認されている。そこで、本研究においては、ヌードマウスのような免疫不全モデルでは無く、正常な免疫能を持つマウスに YTN16 細胞株を腹腔内投与して胃癌腹膜播種モデルを作成し、アクチニウム-225 を用いた  $\alpha$  線医薬品の効果を検証する。

体内動態解析および PET/CT を用いたイメージングは、当初海外共同研究機関において実施し、我々が所属する施設においてもアクチニウム-225 の輸入が行われ次第国内でも平行して実施する。

## 4. 研究成果

### (1) 線放出核種の製造使用

本研究開始時点では、研究員が直接 TRIUMF に滞在することで、アクチニウム-225 製

造、精製に参画して実験を行う予定であったが、COVID-19 感染症パンデミックにより国内での研究機関における実験の制限のみならず、海外渡航が困難となったため、代替的に TRIUMF からアクチニウム-225 を国内に送付し、アイソトープ総合センターにおいて可能な実験を行う事とした。

その結果 2022 年に 3 回、2023 年に 3 回、計六回のアクチニウム-225 供給を受けて標識、動物実験などを行った。

2023 年 10 月からは継承ポスト助教職教員が 1 名共同研究先に常駐して研究を継続している。

#### ( 2 ) ドラッグデリバリーシステムの開発

改変型ストレプトアビジン・ビオチンを用いた新たなドラッグデリバリーシステムにおいて、従来抗原認識部位として、single chain variable fragment (scFV) を用いていたが、近年実用化された VHH 抗体 (Variable domain of Heavy chain of Heavy chain antibody) を利用することで迅速な製造が可能となった。現在同手法によるドラッグデリバリーを行っている。

#### ( 3 ) ドラッグデリバリーシステム RI 標識

本研究では、前立腺がん特異的結合ペプチド PSMA、FDFR4 抗体、及び上記プレターゲットティングシステムで用いる Psyche に標識を行った。PSMA 標識においては 99.7% の標識率を実現したが、FGFR4 抗体の標識においては 10% 程度にとどまった。これは、金属キレート剤 DOTA の使用にあたり、85 度の加熱が必要であることが原因と考えられる。

また、Psyche-DOTA の標識実験は次のように行った。

1 M 酢酸アンモニウム水溶液 (50  $\mu$ L) 及び 0.01M Psyche-B-typeR DOTA の DMSO 溶液 (10  $\mu$ L) が入った混合溶液に  $^{225}\text{Ac}$  の塩酸溶液 (40  $\mu$ L, 10.2 kBq) を加え、マイクロピペットで混合した。pH 試験紙で標識溶液の pH が 5-6 になっているのを確認し、85 で 30 分間、インキュベートした。室温に戻し TLC 分析 (iTLC-SA plates (Agilent, 2  $\times$  10 cm, baseline at 1.5cm, 展開溶媒: 50mM EDTA buffer, pH 4) を行い、標識率を確認した (標識率 78.1%)。この時、 $^{225}\text{Ac}$  の希釈には 1M 塩酸溶液を使用した。最近では 0.1M の塩酸を使用している。

分担研究者の異は、本成果等を以て、2023 年年度中途より特任助教職を得て研究を継続している。

#### ( 4 ) 放射線イメージング

本研究では、ジルコニウム-89 を用いた PET イメージングに成功した。本成果は *Nuclear Medicine and Biology*, 106-107 (2022) において報告した。

#### ( 5 ) 新規胃癌細胞株による腹膜播種モデルの構築

本研究では、FGFR4 抗体をアクチニウム-225 による標識を試みた。抗体のキレート剤修飾及びアクチニウム-225 標識効率に課題がのこっている。そこで、現在は企業と連携して幹細胞を用いた新たなターゲットング手法を開発している。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計51件（うち査読付論文 51件／うち国際共著 16件／うちオープンアクセス 51件）

1. 著者名 Inoue T, Nakamura Y, Tanaka S, Kohro T, Li LX, Huang L, Yao J, Kawamura S, Inoue R, Nishi H, Fukaya D, Uni R, Hasegawa S, Inagi R, Umene R, Wu CH, Ye H, Bajwa A, Rosin DL, Ishihara K, Nangaku M, Wada Y, Okusa	4. 巻 -
2. 論文標題 Bone marrow stromal cell antigen-1 (CD157) regulated by sphingosine kinase 2 mediates kidney fibrosis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Front Med	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmed.2022.993698	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Takahashi H, Wada Y, Sakai J et al	4. 巻 13
2. 論文標題 MYPT1-PP1 phosphatase negatively regulates both chromatin landscape and co-activator recruitment for beige adipogenesis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 5715
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-022-33363-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Haneda Y, Miyagawa-Tomita S, Uchijima Y, Akiyasu Iwase A, Rieko Asai R, Kohro T, Wada Y, Kurihara H	4. 巻 -
2. 論文標題 Diverse contribution of amniogenic somatopleural cells to cardiovascular development: with special reference to thyroid vasculature.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Developmental Dynamics	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/dvdy.532	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Sasaki Y, Higashijima Y, Suehiro JI, Sugasawa T, Oguri-Nakamura E, Fukuhara S, Nagai N, Hirakawa Y, Wada Y, Nangaku M, Kanki Y	4. 巻 605
2. 論文標題 Lysine demethylase 2B regulates angiogenesis via Jumonji C dependent suppression of angiogenic transcription factors.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 16-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2022.03.054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jang J, Kumakura Y, Tatenuma K, Ozeki AN, Wada Y, Akimitsu N, Tsuguchi A, Kikunaga H, Higaki S, Uesaka M	4. 巻 110-111
2. 論文標題 A preliminary biodistribution study of [99mTc]sodium pertechnetate prepared from an electron linear accelerator and activated carbon-based 99mTc generator.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nucl Med Biol	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nucmedbio.2022.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaneko Y, Sugiyama A, Tanaka T, Fukui K, Taguchi A, Tatsuno K, Nakayama A, Koga K, Kishi Y, Daming W, Qian C, Xia F, He F, Zheng L, Yu Y, Wada You, Wada Yos, Kodama T, Kawamura T	4. 巻 5(3)
2. 論文標題 The serological diversity of serum IgG/IgA/IgM against SARS-CoV-2 nucleoprotein, spike, and receptor-binding domain and neutralizing antibodies in patients with COVID-19 in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Health Science reports	6. 最初と最後の頁 e572
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hsr2.572	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Imura R, Ozeki AN, Shida N, Kobayashi M, Ida H, Wada Y, Akimitsu N, Kumakura Y	4. 巻 106-107
2. 論文標題 Radiolabeling of PSMA-617 with 89Zr: A novel use of DMSO to improve radiochemical yield and preliminary small-animal PET results	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nuclear Medicine and Biology	6. 最初と最後の頁 21-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nucmedbio.2021.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaga T, Suehiro J, Wada Y, Sakurai H	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Induction of CTH expression in response to amino acid starvation confers resistance to anti-LAT1 therapy in MDA-MB-231 cells.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 1021
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-04987-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taniue K, Tanu T, Shimoura Y, Mitsutomi S, Han H, Kakisaka R, Ono Y, Tamamura N, Takahashi K, Wada Y, Mizukami Y, Akimitsu N	4. 巻 23(1)
2. 論文標題 RNA Exosome Component EXOSC4 Amplified in Multiple Cancer Types Is Required for the Cancer Cell Survival	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms23010496	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 W. C. Bekelesi, T. Basuki, S. Higaki and S. Nakashima	4. 巻 21
2. 論文標題 Distinction of Migration of Strontium-90 and Cesium-137 for Fukushima Soil and Sediment following the Fukushima Accident	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Radiation Safety Management	6. 最初と最後の頁 26-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.12950/rsm.220527	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Phan JA, Wong DF, Chang NHS, Kumakura Y, Bauer WR, Gjedde A	4. 巻 2
2. 論文標題 Transient equilibrium determination of dopamine D2/D3 receptor densities and affinities in brain	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Front Nucl Med	6. 最初と最後の頁 1030387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnume.2022.1030387	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sigvard, A. K., Bojesen, K. B., Ambrosen, K. S., Tangmose, K., Kumakura Y, Birte Yding Glenth et al	4. 巻 -
2. 論文標題 Dopamine Synthesis Capacity and GABA and Glutamate Levels Separate Antipsychotic-Naive Patients With First-Episode Psychosis From Healthy Control Subjects in a Multimodal Prediction Model	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biological Psychiatry Global Open Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bpsgos.2022.05.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koji Nagaoka, Changbo Sun, Sachiyo Nomura, Toshihiko Torigoe, Kazuhiro Kakimi et al	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 Identification of neoantigens in two murine gastric cancer cell lines leading to the neoantigen-based immunotherapy.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers14010106	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yusuke Nakamura, Jun Kinoshita, Sachiyo Nomura, Noriyuki Inaki, Sachio Fushida et al	4. 巻 25(3)
2. 論文標題 Crosstalk between cancer-associated fibroblasts and immune cells in peritoneal metastasis; inhibition in the migration of M2 macrophages and mast cells by Tranilast.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 515-526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-021-01275-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Xiaowu Bai, Sachiyo Nomura, Philip Chiu, Jun Yu, Enders Kwok-wai Ng et al	4. 巻 10(2)
2. 論文標題 Loss of YTHDF1 in gastric tumors restores sensitivity to anti-tumor immunity by recruiting mature dendritic cells	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Immunother Cancer	6. 最初と最後の頁 e003663
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jitc-2021-003663	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Rejina Shrestha, Naoko Murata-Kamiya, Satoshi Imai, Masami Yamamoto, Tetsuya Tsukamoto, Sachiyo Nomura, Masanori Hatakeyama	4. 巻 23
2. 論文標題 Mouse gastric epithelial cells resist CagA delivery by the Helicobacter pylori type IV secretion system.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int. J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 2492
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms23052492	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Roy S, Kanda M, Nomura S, Zhu Z, Toiyama Y, Taketomi A, Goldenring J, Baba H, Kodera Y, Goel A	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 Diagnostic efficacy of circular RNAs as noninvasive, liquid biopsy biomarkers for early detection of gastric cancer.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Mol Cancer	6. 最初と最後の頁 42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12943-022-01527-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tomohiko Yasuda, Hyun Seok Lee, Su Youn Nam, Sachiyo Nomura et al	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Non-Helicobacter pylori Helicobacter (NHPH) positive gastric cancer	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 4811
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-08962-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Emiko Kono, Urara Isozumi, Sachiyo Nomura, Yoshihiro Kakeji, Kazuhiro Yoshida, Yuko Kitagawa et al	4. 巻 157(9)
2. 論文標題 Surgical Experience Disparity Between Male and Female Surgeons in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JAMA Surg	6. 最初と最後の頁 e222938
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1001/jamasurg.2022.2938	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kae Okoshi, , Hideki Endo, Sachiyo Nomura, Yoshihiro Kakeji, Yuko Kitagawa et al	4. 巻 378
2. 論文標題 Comparison of short-term surgical outcomes of male and female gastrointestinal surgeons in Japan: retrospective cohort study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMJ	6. 最初と最後の頁 e070568
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmj-2022-070568	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kamada Tomoari, Satoh Kiichi, Itoh Toshiyuki, Ito Masanori, Iwamoto Junichi, Okimoto Tadayoshi, Kanno Takeshi, Sugimoto Mitsushige, Chiba Toshimi, Nomura Sachiyo, Mieda Mitsuyo, Hiraishi Hideyuki, Yoshino Junji, Takagi Atsushi, Watanabe Sumio, Koike Kazuhiko	4. 巻 56
2. 論文標題 Evidence-based clinical practice guidelines for peptic ulcer disease 2020	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 303 ~ 322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-021-01769-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rimbara Emiko, Suzuki Masato, Matsui Hidenori, Nakamura Masahiko, Morimoto Misako, Sasakawa Chihiro, Masuda Hiroki, Nomura Sachiyo, Osaki Takako, Nagata Noriyo, Shibayama Keigo, Tokunaga Kengo	4. 巻 118
2. 論文標題 Isolation and characterization of Helicobacter suis from human stomach	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 e2026337118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2026337118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Vercauteren Drubbel Aliz?e, Pirard Sheleya, Kin Simon, Dassy Benjamin, Lefort Anne, Libert Fr?d?rick, Nomura Sachiyo, Beck Benjamin	4. 巻 28
2. 論文標題 Reactivation of the Hedgehog pathway in esophageal progenitors turns on an embryonic-like program to initiate columnar metaplasia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Stem Cell	6. 最初と最後の頁 1411 ~ 1427.e7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stem.2021.03.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shiomi Shinichiro, Toriumi Tetsuro, Yagi Koichi, Asaoka Raito, Okumura Yasuhiro, Wakamatsu Kotaro, Aikou Susumu, Yamashita Hiroharu, Nomura Sachiyo, Seto Yasuyuki	4. 巻 21
2. 論文標題 Trunk fat volume can be a predictor of postoperative complications after gastrectomy: a retrospective cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Surgery	6. 最初と最後の頁 207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12893-021-01221-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawase Kazumi, Nomura Kyoko, Nomura Sachiyo, Akashi-Tanaka Sadako, Ogawa Tomoko, Shibasaki Ikuko, Shimada Mitsuo, Taguchi Tomoaki, Takeshita Emiko, Tomizawa Yasuko, Hanazaki Kazuhiro, Hanashi Tomoko, Yamauchi Hideko, Yamashita Hiroko, Nakamura Seigo	4. 巻 51
2. 論文標題 How pregnancy and childbirth affect the working conditions and careers of women surgeons in Japan: findings of a nationwide survey conducted by the Japan Surgical Society	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Surgery Today	6. 最初と最後の頁 309 ~ 321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00595-020-02129-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Minegishi Kentaro, Dobashi Yoh, Tsubochi Hiroyoshi, Hagiwara Koichi, Ishibashi Yuko, Nomura Sachiyo, Nakamura Ritsuko, Ohmoto Yasukazu, Endo Shunsuke	4. 巻 Volume 14
2. 論文標題 TFF-1 Functions to Suppress Multiple Phenotypes Associated with Lung Cancer Progression	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 OncoTargets and Therapy	6. 最初と最後の頁 4761 ~ 4777
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/OTT.S322697	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumakura Yoshitaka, Shimizu Yuji, Hariu Masatsugu, Ichikawa Ken-ichi, Yoshida Norihito, Suzuki Masato, Oji Satoru, Narukawa Shinya, Yoshimasu Haruo, Nomura Kyoichi	4. 巻 11
2. 論文標題 Dynamic planar scintigraphy for the rapid kinetic measurement of myocardial 123I-MIBG turnover can identify Lewy body disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 EJNMMI Research	6. 最初と最後の頁 122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13550-021-00864-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sigvard Anne Korning, Nielsen Mette Odegaard, Gjedde Albert, Bojesen Kirsten Borup, Fuglo Dan, Tangmose Karen, Kumakura Yoshitaka, Helto Kim, Ebdrup Bjorn H., Jensen Lars Thorbjorn, Rostrup Egill, Glenthøj Birte Yding	4. 巻 91
2. 論文標題 Dopaminergic Activity in Antipsychotic-Naive Patients Assessed With Positron Emission Tomography Before and After Partial Dopamine D2 Receptor Agonist Treatment: Association With Psychotic Symptoms and Treatment Response	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biological Psychiatry	6. 最初と最後の頁 236 ~ 245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biopsych.2021.08.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Imura Ryota, Ozeki Atsuko Nakanishi, Shida Nanako, Kobayashi Mika, Ida Hiroyuki, Wada Youichiro, Akimitsu Nobuyoshi, Kumakura Yoshitaka	4. 巻 106-107
2. 論文標題 Radiolabeling of PSMA-617 with 89Zr: A novel use of DMSO to improve radiochemical yield and preliminary small-animal PET results	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nuclear Medicine and Biology	6. 最初と最後の頁 21 ~ 28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nucmedbio.2021.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 M. Hirota, S. Higaki, S. Ito, Y. Ishida and K. Terao	4. 巻 328
2. 論文標題 Effects of 2-hydroxypropyl -cyclodextrin on the radioactive iodine sorption on activated carbon	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry	6. 最初と最後の頁 659-667
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10967-021-07672-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koji Nagaoka, Masataka Shirai, Kiyomi Taniguchi, Akihiro Hosoi, Changbo Sun, Yukari Kobayashi, Kazuhiro Maejima, Masashi Fujita, Hidewaki Nakagawa, Sachiyo Nomura and Kazuhiro Kakimi	4. 巻 8(2)
2. 論文標題 Deep-immunophenotyping at the single-cell level identifies a combination of anti-IL-17 and checkpoint blockade as an effective treatment in a preclinical model of data-guided personalized immunotherapy.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal for ImmunoTherapy of Cancer	6. 最初と最後の頁 e001358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jitc-2020-001358	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Daisuke Fujimori, Jun Kinoshita, Takahisa Yamaguchi, Yusuke Nakamura, Katsuya Gunjigake, Takashi Ohama, Koichi Sato, Masami Yamamoto, Tetsuya Tsukamoto, Sachiyo Nomura, Tetsuo Ohta, Sachio Fushida	4. 巻 20
2. 論文標題 Established fibrous peritoneal metastasis in an immunocompetent mouse model similar to clinical immune microenvironment of gastric cancer.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 1014
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-020-07477-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katsura Mari, Urade Yoshihiro, Nansai Hiroko, Kobayashi Mika, Taguchi Akashi, Ishikawa Yukiko, Ito Tomohiro, Fukunaga Hisako, Tozawa Hideto, Chikaoka Yoko, Nakaki Ryo, Echigo Akinobu, Kohro Takahide, Sone Hideko, Wada Youichiro	4. 巻 13
2. 論文標題 Low-dose radiation induces unstable gene expression in developing human iPSC-derived retinal ganglion organoids	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-40051-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Yasuna, Matsumoto Hirota, Wu Chia-Hsien, Fukaya Daichi, Uni Rie, Hirakawa Yosuke, Katagiri Mikako, Yamada Shintaro, Ko Toshiyuki, Nomura Seitaro, Wada Youichiro, Komuro Issei, Nangaku Masaomi, Inagi Reiko, Inoue Tsuyoshi	4. 巻 6
2. 論文標題 Alpha 7 nicotinic acetylcholine receptors signaling boosts cell-cell interactions in macrophages effecting anti-inflammatory and organ protection	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-023-05051-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shima Yasuyuki, Kobayashi Mika, Takubo Naoko, Ozeki Atsuko Nakanishi, Sun Xiaoning, Kim Yeon-Jeong, Kamatani Yoichiro, Matsuda Koichi, Maejima Kazuhiro, Fujita Masashi, Noda Kosumo, Kamiyama Hiroyasu, Tanikawa Rokuya, Nagane Motoo, Nakaki Ryo, Akimitsu Nobuyoshi, Wada Youichiro, Kurihara Hiroki, Nakatomi Hirofumi et al	4. 巻 15
2. 論文標題 Increased PDGFRB and NF- B signaling caused by highly prevalent somatic mutations in intracranial aneurysms	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Science Translational Medicine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/scitranslmed.abq7721	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mita Hideaki, Katoh Hiroto, Komura Daisuke, Kakiuchi Miwako, Abe Hiroyuki, Rokutan Hirofumi, Yagi Koichi, Nomura Sachiyo, Ushiku Tetsuo, Seto Yasuyuki, Ishikawa Shumpei	4. 巻 242
2. 論文標題 Aberrant Cadherin11 expression predicts distant metastasis of gastric cancer	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Pathology - Research and Practice	6. 最初と最後の頁 154294 ~ 154294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.prp.2022.154294	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Totoki Yasushi, Nomura Sachiyo, Matsuura Tetsuya, Soong Richie, Fukagawa Akihiko, Yachida Shinichi, Kato Mamoru, Seto Yasuyuki, Ushiku Tetsuo, Nakajima Atsushi, Katai Hitoshi, Tan Patrick, Ishikawa Shumpei, Aburatani Hiroyuki, Shibata Tatsuhiro et al	4. 巻 55
2. 論文標題 Multiancestry genomic and transcriptomic analysis of gastric cancer	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nature Genetics	6. 最初と最後の頁 581 ~ 594
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41588-023-01333-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Minegishi Kentaro, Dobashi Yoh, Koyama Teruhide, Ishibashi Yuko, Furuya Miki, Tsubochi Hiroyoshi, Ohmoto Yasukazu, Yasuda Tomohiko, Nomura Sachiyo	4. 巻 25
2. 論文標題 Diagnostic utility of trefoil factor families for the early detection of lung cancer and their correlation with tissue expression	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2023.13725	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Cao Long Long, Lu Heng, Soutto Mohammed, Bhat Nadeem, Chen Zheng, Peng Dunfa, Gomaa Ahmed, Wang Jia Bin, Xie Jian Wei, Li Ping, Zheng Chao Hui, Nomura Sachiyo, Datta Jashodeep, Merchant Nipun, Chen Zhi Bin, Villarino Alejandro, Zaika Alexander, Huang Chang Ming, El-Rifai Wael	4. 巻 72
2. 論文標題 Multivalent tyrosine kinase inhibition promotes T cell recruitment to immune-desert gastric cancers by restricting epithelial-mesenchymal transition via tumour-intrinsic IFN- signalling	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Gut	6. 最初と最後の頁 2038 ~ 2050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/gutjnl-2022-329134	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shiomi Shinichiro, Yagi Koichi, Iwata Ryohei, Yajima Shoh, Okumura Yasuhiro, Aikou Susumu, Yamashita Hiroharu, Nomura Sachiyo, Seto Yasuyuki	4. 巻 37
2. 論文標題 Lymphatic flow mapping using near-infrared fluorescence imaging with indocyanine green helps to predict lymph node metastasis intraoperatively in patients with esophageal or esophagogastric junction cancer not treated with neoadjuvant chemotherapy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Surgical Endoscopy	6. 最初と最後の頁 8214 ~ 8226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00464-023-10368-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lee Dageong, Choi Junyong, Oh Hye Jeong, Ham In-Hye, Lee Sung Hak, Nomura Sachiyo, Han Sang-Uk, Hur Hoon	4. 巻 55
2. 論文標題 Molecular and Immune Profiling of Syngeneic Mouse Models Predict Response to Immune Checkpoint Inhibitors in Gastric Cancer	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cancer Research and Treatment	6. 最初と最後の頁 167 ~ 178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4143/crt.2022.094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lee Jeannie Xue Ting, Tan Wei Ren, Low Zun Siong, Lee Jia Qi, Chua Damien, Yeo Wisely Duan Chi, See Benedict, Vos Marcus Ivan Gerard, Yasuda Tomohiko, Nomura Sachiyo, Cheng Hong Sheng, Tan Nguan Soon	4. 巻 10
2. 論文標題 YWHAG Deficiency Disrupts the EMT Associated Network to Induce Oxidative Cell Death and Prevent Metastasis	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Advanced Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/advs.202301714	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kono Emiko, Nomura Sachiyo, Sakamoto Takashi, Okoshi Kae, Tanaka Chie, Shirabe Ken, Lee Sang-Woong, Kitagawa Yuko	4. 巻 33
2. 論文標題 Gender equity in surgical instruments: ergonomics of ring-handled forceps	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Minimally Invasive Therapy & Allied Technologies	6. 最初と最後の頁 21 ~ 28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13645706.2023.2261533	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama Takashi, Nomura Sachiyo, Tsukamoto Tetsuya, Suzuki-Inoue Katsue, Ichikawa Daisuke et al	4. 巻 26
2. 論文標題 Inhibition of cancer cell-platelet adhesion as a promising therapeutic target for preventing peritoneal dissemination of gastric cancer	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2023.14125	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimazoe Kenji, Donghwan Kim, Mineo Tomoko, Sato Takeshi, Ohta Seiichi, Tatsumi Toshifumi, Sugiyama Akira, Yamatsugu Kenzo, Nomura Sachiyo, Terabayashi Ryohei, Tomita Hideki, Sonoda Tetsu, Shigekawa Yudai, Yokokita Takuya, Uenomachi Mizuki	4. 巻 245
2. 論文標題 pH dependence of perturbed angular correlation in DOTA chelated <sup>111</sup> In measured with ring-shape gamma-ray detectors	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Interactions	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10751-024-01864-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大矢 周一郎、三輪 快之、浦辺 雅之、谷島 翔、奥村 康弘、八木 浩一、野村 幸世、瀬戸 泰之	4. 巻 35
2. 論文標題 特集 GERDを極める [各論 治療] 術後食道炎の対策	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 消化器内視鏡	6. 最初と最後の頁 680 ~ 688
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24479/endo.0000000744	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三輪 快之、瀬戸 泰之、八木 浩一、渥美 振一郎、岡本 麻美、大矢 周一郎、浦辺 雅之、坂本 啓、谷島 翔、野村 幸世	4. 巻 78
2. 論文標題 特集 ハイボリュームセンターのオペ記事《消化管癌編》 食道癌 ロボット支援縦隔鏡腹腔鏡補助下食道亜全摘のオペ記事-予習・復習を大切に、「書いて学ぶ」手術記録	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 臨床外科	6. 最初と最後の頁 1443 ~ 1451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1407214369	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大木 隆生	4. 巻 78
2. 論文標題 総特集 外科医の働き方改革を考える テーマ1:外科医として働く意義 1.外科医として働く意義	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 手術	6. 最初と最後の頁 1 ~ 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/op.0000003662	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakata Juri, Tatsumi Toshifumi, Sugiyama Akira, Kawamura Takeshi, Miura Mai, Tsukagoshi Masanobu, Chansler Michael, Kodama Tatsuhiko, Kanai Motomu, Tokuyama Hidetoshi, Yamatsugu Kenzo et al	4. 巻 214
2. 論文標題 Antibody-mimetic drug conjugate with efficient internalization activity using anti-HER2 VHH and duocarmycin	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Protein Expression and Purification	6. 最初と最後の頁 106375 ~ 106375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pep.2023.106375	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiomi Shinichiro, Okumura Yasuhiro, Nakane Kosuke, Toriumi Tetsuro, Kawasaki Koichiro, Yajima Shoh, Yagi Koichi, Nomura Sachiyo, Seto Yasuyuki	4. 巻 -
2. 論文標題 Percent vital capacity predicts postoperative sarcopenia after esophagectomy in initially nonsarcopenic esophageal cancer patients: a retrospective cohort study	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Surgery Today	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00595-023-02788-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Riegel Gilles, Orvain Christophe, Recberlik Sevda, Spaety Marie-Elodie, Poschet Gernot, Venkatasamy Aina, Yamamoto Masami, Nomura Sachiyo, Tsukamoto Tetsyua, Masson Murielle, Gross Isabelle, Le Lagadec Ronan, Mellitzer Georg, Gaidon Christian	4. 巻 585
2. 論文標題 The unfolded protein response-glutathione metabolism axis: A novel target of a cycloruthenated complexes bypassing tumor resistance mechanisms	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Cancer Letters	6. 最初と最後の頁 216671 ~ 216671
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.canlet.2024.216671	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計82件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 8件)

1. 発表者名 小坂尚樹、野川憲夫、桧垣正吾、和田洋一郎
2. 発表標題 短寿命 線核種 <sup>211</sup> Atの飛散率実測
3. 学会等名 第4回東京大学技術発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野川憲夫、小坂尚樹、桧垣正吾、和田洋一郎
2. 発表標題 211Atについての活性炭素繊維フィルタを用いた空気モニタリング法と排気フィルタの透過率
3. 学会等名 第4回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 巽 俊文、鷲山 幸信、金井 求 他
2. 発表標題 低免疫原性ストレプトアビジン変異体と改変ビオチンを用いるプレターゲットティングシステムの開発
3. 学会等名 日本放射化学会第66回討論会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 張幸雄，熊倉嘉貴，蓼沼克嘉，尾関温子，和田洋一郎，秋光信佳，津口明，菊永英寿，桧垣正吾，上坂充
2. 発表標題 電子線形加速器・活性炭法を用いた[99mTc]NaTcO <sub>4</sub> の製造とその薬効評価
3. 学会等名 日本放射化学会第66 回討論会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久下恒明、杉山暁、羽場宏光、巽俊文、熊倉嘉貴、和田洋一郎、野村幸世 他
2. 発表標題 胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた 211At標識抗FGFR4抗体による 放射線免疫療法の検討
3. 学会等名 第66回日本放射化学討論会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井村亮太, 尾関温子, 井田博之, 和田洋一郎, 秋光信佳, 熊倉嘉貴
2. 発表標題 有機溶媒を用いた大員環キレートへのジルコニウム89 標識技術開発
3. 学会等名 第66回日本放射化学討論会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久下 恒明、杜 婉瑩、保田 智彦、杉山 暁、羽場 宏光、巽 俊文、秋光 信佳、熊倉 嘉貴、吉田 寛、瀬戸 泰之、和田 洋一郎、野村 幸
2. 発表標題 胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた腹膜播種に対する211At標識抗FGFR4抗体による放射線免疫療法の検討
3. 学会等名 第81回日本癌学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久下 恒明、杜 婉瑩、保田 智彦、杉山 暁、羽場 宏光、巽 俊文、秋光 信佳、熊倉 嘉貴、吉田 寛、瀬戸 泰之、和田 洋一郎、野村 幸世
2. 発表標題 がん治療に 線をどう使うか： 線治療薬
3. 学会等名 第81回日本癌学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久下恒明、杜 婉瑩、増田寛喜、保田智彦、杉山暁、巽俊文、羽場宏光、瀬戸泰之、吉田寛、秋光信佳、熊倉嘉貴、和田洋一郎、野村幸世
2. 発表標題 胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた腹膜播種に対する211At標識抗FGFR4抗体による放射線免疫療法
3. 学会等名 第33回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 熊倉嘉貴、清水裕次、針生将嗣、市川賢一、海田賢一、野村恭一
2. 発表標題 30分MIBGダイナミックプランナー法による定量は、レビー小体病の心筋交感神経機能異常を高精度に同定する
3. 学会等名 第16回パーキンソン病・運動障害疾患 कांग्रेस
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 熊倉嘉貴、清水裕次、針生将嗣、市川賢一、海田賢一、野村恭一
2. 発表標題 30分MIBGダイナミックプランナー法による定量は、レビー小体病の心筋交感神経機能異常を高精度に同定する
3. 学会等名 第62回日本核医学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井村亮太、熊倉嘉貴、Yan Lin、下浦優希、高橋浩之、井田博之、和田洋一郎、秋光信佳
2. 発表標題 DOTAを使用した89Zr標識抗体の合成および小動物PETイメージング
3. 学会等名 第62回日本核医学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 圓子真由美、阪井純、奥村均、藤原雄介、熊倉嘉貴
2. 発表標題 123I-MIBG Dynamic Planar scintigraphy(DPS)法の使用経験
3. 学会等名 第42回日本核使用経験・医学技術学会総会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 奥村康弘、吉村俊太郎、皆月ちひろ、新美恵子、李基成、谷島翔、八木浩一、愛甲丞、山下裕玄、野村幸世、瀬戸泰之
2. 発表標題 当院における胃GISTに対する術式の工夫
3. 学会等名 第18回日本消化管学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野村幸世
2. 発表標題 外科医の働き方改革とダイバーシティACアカデミックキャリア委員会特別企画
3. 学会等名 日本性差医学医療学会第15回学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野村幸世
2. 発表標題 外科医の働き方改革とダイバーシティ
3. 学会等名 藤田医科大学ばんたね病院キャリア支援セミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 浦辺 雅之、奥村 康弘、八木 浩一、吉村 俊太郎、李 基成、谷島 翔、野村 幸世、瀬戸 泰之
2. 発表標題 食道扁平上皮癌・胃腺癌の同時外科的切除
3. 学会等名 第94回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuhiro Okumura, Sachiyo Nomura, Yasuyuki Seto et al
2. 発表標題 Risk factors of early recurrence after conversion surgery for cStage IV gastric cancer
3. 学会等名 第94回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sachiyo Nomura, Wanyin Du, Koji Nagaoka, Hiroki Masuda, Yasuyuki Seto, Kazuhiro Kakimi
2. 発表標題 Immune checkpoint inhibitor treatment for peritoneal dissemination of gastric cancer in mouse model.
3. 学会等名 第94回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 齋藤範之、佐藤靖祥、小林由香利、長岡孝治、阿部浩幸、鎌谷高志、八木浩一、野村幸世、角田達彦、牛久哲男、垣見和宏、瀬戸泰之
2. 発表標題 病理組織学的検討とフローサイトメトリーで検証されたトランスクリプトーム解析を用いた胃癌微小環境の評価
3. 学会等名 第43回癌免疫外科研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Dayeong Lee, Junyong Choi, Hye Jeong Oh, In-Hye Ham, Sachiyo Nomura, Sang-Yong Son, Sang-Uk Han, Hoon Hur
2. 発表標題 DIFFERENTIAL RESPONSE TO IMMUNE CHECKPOINT INHIBITOR IN SYNGENEIC GASTRIC CANCER MOUSE MODELS
3. 学会等名 IGCC2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野村幸世、調憲、北川雄光
2. 発表標題 ダイバーシティがもたらす消化器外科医の新しい世界
3. 学会等名 第77 回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大越香江、野村幸世、小林美奈子、阪田麻裕、高須千絵、田中千恵、林憲吾、松永理絵、調憲、北川雄光
2. 発表標題 男女共同参画ワーキンググループキックオフと消化器外科領域のジェンダー平等の実情
3. 学会等名 第77 回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 調憲、野村幸世、北川雄光
2. 発表標題 男女共同参画と働き方改革：日本消化器外科学会の取組
3. 学会等名 JDDW2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 保田 智彦、増田 寛喜、瀬戸 泰之、野村 幸世
2. 発表標題 NHPH感染の胃がん
3. 学会等名 第81回日本癌学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 増田 寛喜、豊田 武士、宮下 知治、吉田 寛、瀬戸 泰之、野村 幸世
2. 発表標題 ラット外科的逆流モデルにおけるパレット食道に対するMEKインヒビターの治療効果の検討
3. 学会等名 第81回日本癌学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杜 婉瑩、増田 寛喜、長岡 孝治、保田 智彦、久下 恒明、瀬戸 泰之、垣見 和宏、野村 幸世
2. 発表標題 免疫能を有するマウスモデルにおける胃癌腹膜播種の免疫チェックポイント阻害剤治療
3. 学会等名 第81回日本癌学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 仲山 孝、古屋 信二、高橋 和徳、山本 淳史、滝口 光一、芦沢 直樹、庄田 勝俊、中山 裕子、山本 昌美、野村 幸世 他
2. 発表標題 胃癌腹膜播種形成における血小板の役割
3. 学会等名 第81回日本癌学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野村 幸世
2. 発表標題 外科医の働き方改革とダイバーシティ
3. 学会等名 第15回日本性差医学・医療学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 塩見真一郎、野村幸世、谷島翔、奥村康弘、八木浩一、瀬戸泰之
2. 発表標題 食道癌に対する術前化学療法が転移リンパ節に及ぼす線維化の誘導因子に関する検討
3. 学会等名 第33回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 保田智彦、増田寛喜、吉田寛、瀬戸泰之、野村幸世
2. 発表標題 Non-Helicobacter pylori Helicobacter陽性の胃がん
3. 学会等名 第33回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久下恒明、杜 婉瑩、杉山暁、巽俊文、羽場宏光、秋光信佳、熊倉嘉貴、和田洋一郎、野村幸世 他
2. 発表標題 胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた腹膜播種に対する211At標識抗FGFR4抗体による放射線免疫療法
3. 学会等名 第33回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 増田寛喜、豊田武士、宮下知治、吉田寛、瀬戸泰之、野村幸世
2. 発表標題 ラット外科的逆流モデルにおけるパレット食道に対するMEKインヒビターの治療効果の検討
3. 学会等名 第33回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Wan-Ying Du、増田寛喜、長岡孝治、保田智彦、久下恒明、瀬戸泰之、垣見和宏、野村幸世
2. 発表標題 免疫能を有するマウスモデルにおける胃癌腹膜播種の免疫チェックポイント阻害剤治療
3. 学会等名 第33回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川崎浩一郎、鳥海哲郎、大矢周一郎、岡本麻美、浦辺雅之、三輪快之、谷島翔、奥村康弘、八木浩一、野村幸世、瀬戸泰之
2. 発表標題 幽門側胃切除術、幽門保存胃切除術の PGS・術後 QOL の比較
3. 学会等名 胃外科術後障害研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 黒田 晃弘、八木 浩一、浦邊 雅之、奥村 康弘、野村 幸世、瀬戸 泰之
2. 発表標題 Nivolumabが奏功し、conversion surgeryを施行した食道癌の一例
3. 学会等名 第84回日本臨床外科学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河野 恵美子、大越 香江、梅澤 昭子、小林 美奈子、長谷川 芙美、竹原 裕子、林 沙貴、野村 幸世
2. 発表標題 女性医師の活躍できる内視鏡外科手術と働き方改革の在り方とは？
3. 学会等名 第35回日本内視鏡外科学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Wiseman Chisale Bekelesi, Triyono Basuki, Shogo Higaki, Satoru Nakashima
2. 発表標題 Distribution of Sr-90 in Fukushima soil using ICP-MS and liquid scintillation counting spectrometry
3. 学会等名 第3回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小坂尚樹、野川憲夫、桧垣正吾、和田洋一郎
2. 発表標題 短寿命 線核種 <sup>211</sup> Atの飛散率実測
3. 学会等名 令和3年度放射線安全取扱部会年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Toshifumi Tatsumi, Kenzo Yamatsugu, Yohei Shimizu, Akira Sugiyama, Songji Zhao, Ken-ichi Nishijima, Naoyuki Ukon, Noboru Oriuchi, Kazuhiro Takahashi, Kohshin Washiyama, Tatsuhiko Kodama, Motomu Kanai
2. 発表標題 Targeted delivery of <sup>211</sup> At with low immunogenic mutant streptavidin-bisiminobiotin pre-targeting therapy
3. 学会等名 AIMECS 2021: 13th AFMC INTERNATIONAL MEDICINAL CHEMISTRY SYMPOSIUM (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Toshifumi Tatsumi, Kenzo Yamatsugu, Akira Sugiyama, Songji Zhao, Miho Aok, Ken-ichi Nishijima, Naoyuki Ukon, Saki Shimoyama, Chengbo Tan, Fengying Gao, Taiki Joho, Noboru Oriuchi, Kazuhiro Takahash, Motomu Kanai, Tatsuhiko Kodama, Kohshin Washiyama
2. 発表標題 Targeted delivery of <sup>211</sup> At with low immunogenic mutant streptavidin-bisiminobiotin pre-targeting system
3. 学会等名 The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井村 亮太、尾関 温子、志田 菜奈子、小林 美佳、井田 博之、和田 洋一郎、秋光 信佳、熊倉 嘉貴
2. 発表標題 89Zr-PSMA-617の合成および小動物PETイメージング
3. 学会等名 第61回日本核医学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野村幸世、増田寛喜、保田智彦、安川佳美、竹島秀幸、吉田寛、牛島俊和、瀬戸泰之
2. 発表標題 胃癌早期診断血清バイオマーカーTFF3の上昇機序の解明
3. 学会等名 第93回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野村幸世
2. 発表標題 胃がんの発生母地となる胃背景粘膜に関する研究 スポンサードシンポジウム2 上部消化管疾患の診断と治療
3. 学会等名 第30回消化器疾患病態治療研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杜婉壺、増田寛喜、瀬戸泰之、森屋恭爾、野村幸世
2. 発表標題 X試薬による胃がん細胞株YTN16の増殖抑制作用
3. 学会等名 第80回日本癌学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野村幸世、長岡浩二、白井政孝、谷口紀代美、瀬戸泰之、垣見和宏
2. 発表標題 C57Bl/6マウス可移植胃癌細胞を用いた癌微小環境における浸潤細胞Single-cell RNAシーケンスから同定されたIL-17阻害免疫療法
3. 学会等名 JDDW2021 KOBE
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉山 暁・山次 健三・巽 俊文・鷺山 幸信・金井 求・児玉 龍彦・清水 洋平・溝端 栄一・井上 豪
2. 発表標題 低免疫原性を持つストレプトアビジンとRI標識イミノピオチンを用いたプレターゲティング法の開発
3. 学会等名 第60回日本核医学会学術総会,
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 巽 俊文・山次 健三・清水 洋平・杉山 暁・趙 松吉・粟生木 美穂・西嶋 剣一・右近 直之・高橋 和弘・児玉 龍彦・鷺山 幸信・金井 求
2. 発表標題 進行がん治療を指向した低免疫原性ストレプトアビジン変異体と211At 標識イミノピオチンを用いるプレターゲティングシステムの開発
3. 学会等名 反応と合成の進歩2020特別企画シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野村 幸世、増田 寛喜、保田 智彦、安川 佳美、竹島 秀幸、吉田 寛、牛島 俊和、瀬戸 泰之
2. 発表標題 消化器癌早期診断血清バイオマーカーTFF3の上昇機序の解明
3. 学会等名 第31回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤靖祥、和田郁雄、小林由香利、奥村康弘、若松高太郎、八木浩一、愛甲丞、山下裕玄、野村幸世、垣見和宏、瀬戸泰之
2. 発表標題 免疫ゲノム解析による胃癌の新規免疫学的分類
3. 学会等名 第93回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野川憲夫、小坂尚樹、桧垣正吾、和田洋一郎
2. 発表標題 アスタチン-211の各種管内における吸着
3. 学会等名 第22回日本放射線安全管理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Shinichiro Shiomii1, Sachiyo Nomura1, shoh yajima1, yasuihiro okumura1, koichi Yagi1, Yasuyuki Seto
2. 発表標題 TGF- 1 SECRETED FROM MACROPHAGES ACCUMULATING IN METASTATIC LYMPH NODES INDUCES FIBROSIS AFTER NEOADJUVANT CHEMOTHERAPY FOR ESOPHAGEAL SQUAMOUS CELL CARCINOMA
3. 学会等名 DDW2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Wan-Ying Du1, Hiroki Masuda1, Koji Nagaoka1, Tomohiko Yasuda1, Komei Kuge1, Yasuyuki Seto1, Kazuhiro Kakimi1, Sachiyo Nomura
2. 発表標題 DUAL IMMUNE CHECKPOINT INHIBITOR TREATMENT IMPROVES OUTCOMES IN GASTRIC CANCER PERITONEAL METASTASIS IN AN IMMUNE COMPETENT MOUSE MODEL
3. 学会等名 DDW2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Heng Lu, Longlong Cao, Mohammed Soutto, Nadeem Sidiq Bhat, Zheng Chen, Dunfa Peng, Ahmed R. Gomaa, Sachiyo Nomura, Alexander Zaika, Wael El-Rifai
2. 発表標題 MULTIVALENT TYROSINE KINASE INHIBITION PROMOTES T CELL RECRUITMENT TO IMMUNE-DESERT GASTRIC CANCERS BY RESTRICTING EPITHELIAL-MESENCHYMAL TRANSITION VIA TUMOR-INTRINSIC IFN- SIGNALING
3. 学会等名 DDW2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Komei Kuge, Hiroki Masuda, Wan-Ying Du, Tomohiko Yasuda, Akira Sugiyama, Hiromitsu Haba, Toshifumi Tatsumi, Nobuyoshi Akimitsu, Yoshitaka Kumakura, Hiroshi Yoshida, Yasuyuki Seto, Youichiro Wada, Sachiyo Nomura
2. 発表標題 RADIOIMMUNOTHERAPY OF AT-211-LABELED ANTI-FIBROBLAST GROWTH FACTOR RECEPTOR 4 (FGFR4) ANTIBODY IS A PROMISING TREATMENT FOR PERITONEAL DISSEMINATION OF GASTRIC CANCER: IN IMMUNOCOMPETENT MICE STUDY
3. 学会等名 DDW2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sachiyo Nomura, Wan-Ying Du, Hiroki Masuda, Koji Nagaoka, Tomohiko Yasuda, Komei Kuge, Yasuyuki Seto, Kazuhiro Kakimi
2. 発表標題 Medical Oncology 4-5 Dual Immune checkpoint inhibitor improves outcomes peritoneal metastasis in an immunocompetent mouse model Medical Oncology 4: Immunotherapy for gastric cancer
3. 学会等名 IGCC 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 野村 幸世
2. 発表標題 みんなで考えよう!男女が共に輝く麻酔・手術チーム
3. 学会等名 第106回日本獣医麻酔外科学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 野村 幸世
2. 発表標題 名匠から学ぶ!外科医の真髄!
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 野村 幸世
2. 発表標題 特別企画5【男女共同参画委員会】不可視化されたジェンダーバイアスを明らかにする-消化器外科領域の男女共同参画の真の実現に向けて-
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 竹原 裕子, 河野 恵美子, 林 沙貴, 今村 清隆, 和田 則仁, 大越 香江, 野村 幸世
2. 発表標題 ワークショップ1【総論】外科教育・働き方改革のためのオンライン活用術
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 黒田 晃弘, 李 基成, 成田 丈格, 浦邊 雅之, 吉村 俊太郎, 谷島 翔, 奥村 康弘, 八木 浩一, 野村 幸世, 瀬戸 泰之
2. 発表標題 稀な胸管の走行異常を伴う食道癌術後の乳糜胸の治療にリンパ管造影検査が有用であった一例
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 久下 恒明, 杜 婉瑩, 増田 寛喜, 保田 智彦, 杉山 暁, 羽場 宏光, 瀬戸 泰之, 吉田 寛, 和田 洋一郎, 野村 幸世
2. 発表標題 胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた腹膜播種に対するAt-211標識抗FGFR4抗体による放射線免疫療法の検討
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 李 基成, 成田 丈格, 浦辺 雅之, 吉村 俊太郎, 谷島 翔, 奥村 康弘, 八木 浩一, 野村 幸世, 瀬戸 泰之
2. 発表標題 術前のステロイド内服が胃癌術後合併症に及ぼす影響
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 河野 恵美子, 五十棲 麗, 野村 幸世, 大越 香江, 山本 博之, 宮田 裕章, 安福 至, 前田 広道, 坂本 純一, 内山 和久, 掛地 吉弘, 吉田 和弘, 北川 雄光
2. 発表標題 日本における男性外科医と女性外科医の手術修練格差
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大越 香江, 遠藤 英樹, 野村 幸世, 河野 恵美子, 藤田 悠介, 安福 至, 肥田 侯矢, 山本 博之, 宮田 裕章, 吉田 和弘, 掛地 吉弘, 調 憲, 北川 雄光
2. 発表標題 消化器外科学会の挑戦-真の男女共同参画への道のりとマイルストーン-
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 塩見 真一郎, 奥村 康弘, 中根 康介, 鳥海 哲郎, 川崎 浩一郎, 谷島 翔, 八木 浩一, 野村 幸世, 瀬戸 泰之
2. 発表標題 %肺活量(%VC)は術前非サルコペニアの食道癌患者における術後サルコペニア発症の予測に有用である
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 久下恒明, 増田 寛喜 杜 婉瑩 保田 智彦 杉山 暁 羽場 宏光 巽 俊文 秋光 信佳 熊倉 嘉貴 吉田 寛 瀬戸 泰之 和田 洋一郎 野村 幸世
2. 発表標題 胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた211At標識抗FGFR4抗体による放射線免疫療法の有効性
3. 学会等名 第78回日本消化器外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 塩見真一郎, 野村 幸世 谷島 翔 奥村 康弘 八木 浩一 瀬戸 泰之
2. 発表標題 食道癌術前化学療法後の転移リンパ節に起こる線維化に際してマクロファージの果たす役割に関する検討
3. 学会等名 第82回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 増田寛喜, 豊田 武士 宮下 知治 吉田 寛 瀬戸 泰之 野村 幸世
2. 発表標題 ラット外科的逆流モデルにおけるパレット食道に対するMEKインヒビターの治療効果の検討
3. 学会等名 第82回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 杜 婉瑩、増田 寛喜 長岡 孝治 保田 智彦 久下 恒明 瀬戸 泰之 垣見 和宏 野村 幸世
2. 発表標題 免疫能を有するマウスの胃がん腹膜播種モデルにおけるルキシソリチニブによるICIへの治療反応改善の研究
3. 学会等名 第82回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 仲山 孝 古屋 信二 齊藤 亮 高橋 和徳 滝口 光一 芦沢 直樹 庄田 勝俊 中山 裕子 山本 昌美 野村 幸世 塚本 徹哉 市川 大輔
2. 発表標題 胃癌腹膜播種における胃癌細胞-血小板相互作用の役割
3. 学会等名 第82回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 河野恵美子、大越香江、野村幸世
2. 発表標題 消化器外科女性医師の活躍を応援する会(AEGIS-Women)が行うキャリア支援
3. 学会等名 JDDW 2023 女性医師・研究者プログラム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤弘隆, 佐藤靖祥, 情野舞衣, 渥美振一郎, 大矢周一郎, 三輪快之, 谷島翔, 八木浩一, 野村幸世, 瀬戸泰之
2. 発表標題 食道悪性黒色腫に対してニボルマブ+イピリムマブ投与後にサイトカイン放出症候群(CRS)を合併した1例
3. 学会等名 第85回日本臨床外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 杜 婉瑩、増田 寛喜、長岡 孝治、保田 智彦、久下 恒明、瀬戸 泰之、垣見 和宏、野村 幸世
2. 発表標題 免疫能を有するマウスの胃がん腹膜播種モデルにおけるルキシソリチニブによるICIへの治療反応改善の研究
3. 学会等名 第34回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 塩見 真一郎、野村 幸世、谷島 翔、奥村 康弘、八木 浩一、瀬戸 泰之
2. 発表標題 術前化学療法後の転移リンパ節に発現するマクロファージ由来TGF- $\beta$ が、リンパ節の線維化とリンパ流に及ぼす影響
3. 学会等名 第34回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 増田 寛喜、豊田 武士、宮下 知治、吉田 寛、瀬戸 泰之、野村 幸世
2. 発表標題 ラット外科的逆流モデルにおけるパレット食道に対するMEKインヒビターの治療効果の検討
3. 学会等名 第34回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 久下 恒明、増田 寛喜、杜 婉瑩、保田 智彦、杉山 暁、巽 俊文、羽場 宏光、熊倉 嘉貴、瀬戸 泰之、吉田 寛、秋光 信佳、和田 洋一郎、野村 幸世
2. 発表標題 胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた腹膜播種に対するAt-211標識抗FGFR4抗体による放射線免疫療法の検討
3. 学会等名 第34回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 八木浩一, 大矢周一郎, 奥村康弘, 谷島翔, 坂本啓, 野村幸世, 渥美振一郎, 浦辺雅之, 愛甲丞, 岡本麻美, 三輪快之, 瀬戸泰之
2. 発表標題 ロボット支援縦隔鏡下食道切除の長期成績
3. 学会等名 日本内視鏡外科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 塩見 真一郎、菅原 弘太郎、田口 慧、五ノ井 涉、花岡 昇平、八木 浩一、野村 幸世、瀬戸 泰之
2. 発表標題 性別や体格を考慮したCTによる内臓脂肪面積の評価は、胃癌術後SSIの予測に有用である
3. 学会等名 第96回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 岡本 麻美、佐藤 靖祥、山下 裕玄、渥美 振一郎、大矢 周一郎、坂本 啓、浦辺 雅之、三輪 快之、谷島 翔、八木 浩一、野村 幸世、瀬戸 泰之
2. 発表標題 胃癌に対するNivolumab療法における予後予測因子としての炎症栄養学的指標の検討
3. 学会等名 第96回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大矢 周一郎、佐藤 靖祥、山下 裕玄、渥美 振一郎、岡本 麻美、坂本 啓、浦辺 雅之、三輪 快之、谷島 翔、八木 浩一、野村 幸世、瀬戸 泰之
2. 発表標題 切除不能進行・再発胃癌に対するNivolumab単剤療法におけるリンパ節転移の影響
3. 学会等名 第96回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 久下 恒明、杜 婉瑩、増田 寛喜、保田 智彦、杉山 暁、巽 俊文、羽場 宏光、瀬戸 泰之、吉田 寛、秋光 信佳、熊倉 嘉貴、和田 洋一郎、野村 幸世
2. 発表標題 胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた腹膜播種に対するAt-211標識抗FGFR4抗体による 放射線免疫療法の検討
3. 学会等名 第96回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2024年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 五井 孝憲	4. 発行年 2023年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 240
3. 書名 決定版！ まるごと知りたい消化管：解剖生理も、最新の治療も、患者ケアも	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	桧垣 正吾 (Higaki Shogo)  (50444097)	東京大学・アイソトープ総合センター・助教  (12601)	
研究分担者	巽 俊文 (Tatsumi Toshifumi)  (80868232)	東京大学・大学院薬学系研究科(薬学部)・特任研究員  (12601)	
研究分担者	野村 幸世 (Nomura Sachiyo)  (70301819)	東京大学・医学部附属病院・准教授  (12601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	熊倉 嘉貴  (Kumakura Yoshitaka)  (90517773)	埼玉医科大学・医学部・教授     (32409)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関